

# 滝川市立東小学校

指定年度：H30～  
児童数：488名

## 1 包括的な学校改善に向けた取組の概要

### ① 教育理念や経営方針の浸透～教職員や保護者、地域住民との目的・目標・方策の共有化

「よりよい学校教育を通じてよりよい社会を創る」という『社会に開かれた教育課程』の理念のもと、地域社会とともにある学校を実現させるために、保護者や地域住民に対して、学校運営協議会やPTA総会など各種会議の場や学校だより、ホームページを活用し、年間を通して本校の教育理念や経営方針の浸透を図る情報発信を行っている。



【学校運営協議会の様子】

また、本校では4月と9月の年2回、職員会議で、学校経営方針を示し、分掌部会において、学校経営方針を具体化する策を立て、取組の検証改善を行うことで、内容の徹底を図っている。

検証指標として、地域や保護者へのアンケートに「学校は、様々な場面で経営方針を伝え、地域に伝える教育活動を行っていますか」「適切に情報を発信していますか」の2つの設問を設定し、目標値を肯定的回答80%以上と定め、教育理念や経営方針の浸透の状況を把握している。

### ② 協働意識の高揚～校務分掌を工夫した組織体制の確立

「新型コロナウイルス感染症に伴う臨時休校への対応」など、学校には前例にない取組が求められており、こうした課題に対応するためには、教職員が一体となり、組織的な機動力をいかに発揮できるかが重要である。



【課題検討委員会の様子】

また、教職員数が多い本校では、かねてから「組織マネジメント」の視点からの学校改善を課題と位置付け、重点取組の1つとしている。

本校では、事業指定を受けてからの2年間で、学年や校務分掌を横断する組織的な対応を可能とする校内体制整備に取り組み、現在は、各主任で構成する『課題検討委員会』を機能させることで、ミドル・アップダウン型の「組織マネジメント」を確立し、「チーム学校」を具現化している。

### ③ コミュニケーションの場の活用～日常対話や面談の工夫

本校では、教職員人事評価制度に係る「人事評価シート」の「学校設定」欄に、校長が示す経営方針における「学校課題重点」に対する個人の取組と具体的目標数値を記載させ、年3回の面談を通して、学校経営への参画意識を高める方策を取り入れている。

このように、年間を通じた管理職と教職員の面談により、目標、課題意識等を共有し、連携・協働による課題解決を図るためのコミュニケーションを進めている。

## 2 取組の成果と課題 (□：成果 ■：課題)

□今年度は会議を開催する回数が少なかったが、地域や保護者のアンケートでは、「学校は、様々な場面で経営方針を伝え、地域に伝える教育活動を行っていますか」「適切に情報を発信していますか」の設問に対する肯定的回答が目標値を上回った。

項目	保護者	地域
学校は、様々な場面で経営方針を伝え、地域に伝える教育活動を行っていますか	85.0%	85.0%
適切に情報を発信していますか	90.0%	92.5%

【地域や保護者のアンケートの結果】

□教職員のアンケートでは、「校務運営上の諸会議等適切な組織がつけられ、学年・分掌と連携を図りつつ今日的な課題に対応している」の設問に対する肯定的回答が、目標値を上回った。人事異動で教職員が替わっても、昨年同期と同様の数値であったことから、校内の連携・協働体制が確立されている。

項目	R 1	R 1	R 2	R 2
	上期	下期	上期	下期
校務運営上の諸会議等適切な組織がつけられ、学年・分掌と連携を図りつつ今日的な課題に対応している	82.5	87.5	87.5	85.0

【教職員のアンケートの結果】

■各分掌の業務に重なりがあることから、「課題検討委員会」において、分掌業務の見直しを図り、効率的な校務運営に向け、分掌間の連携をより一層図る必要がある。